

資料編 2 (各種一覽)

1 職員

①直営期 (*表示は年度)

落合 利恵子	館長	1994~1998 (H6~10)
岡野 豊彦	管理課長	1994 (H6)
笠原 利彦	副参事兼副館長, 副館長	1995 (H7), 1996 (H8)
早坂 敏明	管理係長兼学芸係長	1994~1996 (H6~8)
日下 義勝	管理課主査	1994~1996 (H6~8)
田澤 晴子	主任研究員	1994~(H6~)
青木 真由美	学芸員	1994~1995 (H6~7)
田中 昌亮	資料収集嘱託員	1994 (H6)
土川 信男	資料収集調査研究員	1994~1995 (H6~7)
南條 由美子	臨時職員事務補助	1994~1995 (H6~7)
滝川 和枝	臨時職員事務補助	1995 (H7)
根岸 直子	臨時職員事務補助	1995~1996 (H7~8)
佐藤 洋子	臨時職員事務補助	1995~1999 (H7~11)
三浦 絹子	臨時職員事務補助	1996 (H8)
駒板 精思	管理課長, 館長 (管理課長)	1996~1997 (H8~9), 1998~2000 (H10~12)
森谷 悟	管理課課長補佐, 同兼管理係長兼学芸係長	1996 (H8), 1997~1998 (H9~10)
門間 友恵	学芸員	1996~1998 (H8~10)
横山 寛勝	資料収集嘱託員	1996~1998 (H8~10)
太田 まき	臨時職員事務補助	1997~(H9~)
松浦 信宏	管理課主査	1998~2001 (H10~13)
万城目 牧子	管理課課長補佐	1999 (H11)
千葉 友恵	学芸員	1999~2000 (H11~12)
佐々木 樹一	管理課管理係係長	2000~2001 (H12~13)
伊藤 大介	非常勤研究員	2000~2001 (H12~13)
青沼 三夫	館長 (管理課長)	2001 (H13)

②民間委託～指定管理期（＊表示は年度）

田中 昌亮	館長（NPO 古川学人から出向）	2002～2011（H14～23）
角田 稔	事務局長（同）	2002～2003（H14～15）
田澤 晴子	主任研究員（古川市から出向）	2002～2005（H14～17）
加藤 まき	研究助手	2002（H14）
佐々木 威	事務会計、事務長	2002～2012（H14～24）、2012（H24）～現職
松浦 香寿美	事務会計補佐	2002（H14）
我妻 裕美	研究助手補佐	2002～2003（H14～15）
中鉢 真子	学芸員	2003～2011（H15～23）
高橋 かおる	学芸員	2003～2007（H15～19）
菅原 俊美	事務長	2003～2004（H15～16）
久光 則行	事務長	2004～2011（H16～23）
本間 明美	総務	2006（H18）～現職
菅原 暢子	総務	2006（H18）～現職
櫻田 逸子	学芸員	2007～2009（H19～21）
鈴木 光太郎	学芸員	2010～2013（H22～25）
守屋 美穂	学芸員	2010～2011（H22～23）
佐々木源一郎	館長	2011～14（H23～26）
大川 真	事務長 - 副館長, 館長	2011～14（H23～26）、2014～16（H26～28）
石澤 理如	非常勤研究員	2011～2014（H23～26）
小嶋 翔	非常勤研究員, 主任研究員	2011～2012（H23～24）、2013（H25）～現職
佐藤 弘幸	学芸員	2012（H24）～現職
佐藤 花香	経理・総務	2012～2013（H24～25）
樋野 智恵	受付	2014～2015（H26～27）
大益 三樹子	経理・総務	2016～2022（H28～R4）
氏家 仁	学校教育支援アドバイザー, 館長	2016（H28）、2017（H29）～現職
佐々木 隼相	非常勤研究員	2020（R2）
青山 知恵	受付	2022（R4）
木村 未羽	受付	2022（R4）
三塚 ひろみ	総務・受付	2023～現職

③名誉館長（＊表示は年度）

井上 ひさし	1998～2010（H10～22）
--------	-------------------

④特別顧問（＊表示は年度）

猪木 武徳	2012～（H24～）
-------	-------------

2 指定管理団体（NPO古川学人）歴代役員

佐々木源一郎	理事長（2002-13）	千葉 啓子	理 事（2006-07）
田中 昌亮	副理事長（2002-10）		監 事（2008-10）
佐々木 一郎	副理事長（2002-07）	高橋 久之	<u>理 事（2009-10, 23-）</u>
佐藤 俊明	専務理事（2002-10）		専務理事（2011-22）
	理 事（2011）	今泉 信吾	<u>理 事（2010, 12-）</u>
	副理事長（2012-13）	千田 信良	理 事（2010-15）
	<u>理事長（2014-）</u>	佐藤 吉昭	監 事（2011）
石ヶ森 信幸	財務理事（2002-10）		副理事長（2012）
	理 事（2011）	若見 正幸	<u>理 事（2013-）</u>
	<u>監 事（2012-）</u>	千葉 基	<u>理 事（2014-15, 22-）</u>
角田 稔	理 事（2002-03,04-13）		副理事長（2016-21）
	監 事（2003）	佐藤 憲一	理 事（2014-16）
	副理事長（2014-17）		<u>副理事長（2017-）</u>
高橋 よし子	理 事（2002）	鉄本 由美	理 事（2017-21）
松倉 善昭	理 事（2002-07）	佐々木 威	理 事（2017-21）
	監 事（2008-21）		<u>財務理事（2022-）</u>
	<u>副理事長（2022-）</u>	千島 優子	<u>理 事（2018-）</u>
佐々木登久男	監 事（2002-03）	伊藤 真	<u>理 事（2018-）</u>
落合 利恵子	監 事（2002-07）	渡辺 俊	理 事（2018-23）
	理 事（2008）		<u>副理事長（2024-）</u>
佐々木 康雄	理 事（2003,08-10）	佐々木 公明	<u>理 事（2019, 23-）</u>
	監 事（2004-07）		副理事長（2020-22）
	副理事長（2011-12）	石山 敬貴	<u>理 事（2019-）</u>
石川 博	理 事（2003-10）	姉齒 公也	<u>理 事（2019-）</u>
伊藤 淳	理 事（2003-07）	菅原 美紀	理 事（2022）
柳原 榮夫	理 事（2003-08）		<u>専務理事（2023-）</u>
我妻 孝	理 事（2006-10）		
	財務理事（2011-21）		
	<u>監 事（2022-）</u>		

（＊表示は年度、傍線は現職）

3 開催した企画展

廊下等で行われた小規模展示等は割愛した。外部団体による共催等が行われた場合はそれを付記した。また直営期(1994～2001〔平成6～2010〕年度)の展示会については確認できた範囲で掲載している。

- ・「吉野作造をめぐる人々」(1995年1月29日～3月30日)
- ・「赤い鉄道馬車」(1995年8月1日～6月30日)
- ・「明治のなかのヨーロッパ―吉野作造と明治文化研究会」(1995年8月1日～9月30日)
- ・「あれから半世紀 私の戦争体験」(1995年8月)
- ・「異郷浪漫の風景―米城善右衛門写真展」(1995年11月1日～12月26日)
- ・「江戸から東京へ―下町の暮らし」(1995年12月8日～1996年1月28日)
- ・「魂の共感―吉野作造と芝居」(1996年2月6日～3月31日)
- ・「吉野作造と「婦人運動家」たち」(1996年7月20日～10月20日)
- ・「『民本主義』の80年」(1996年12月10日～1997年3月9日)
- ・「吉野作造と古川―青春の明治時代」(1997年4月22日～6月29日)
- ・「ジャーナリズムの虚像と実像」(1997年8月12日～11月30日)
- ・「渋谷栄太郎と大正デモクラシー」(1997年12月9日～1998年2月28日)
- ・「モダン生活の時代」(1998年9月1日～11月3日、みやぎ県民文化創造の祭典'98協賛事業)
- ・「宮城の先人からの贈りもの」(1999年7月20日～9月19日)
- ・「吉野作造・ことばの宇宙」(2001年9月16日～10月31日)
- ・「写真展 大正時代の荒雄村」(2003年3月22日～30日)
- ・「憧れのヨーロッパ―吉野作造と近代西欧社会」(2003年10月11日～12月13日)
- ・「ああ、なつかしの古川」(2004年7月17日～8月22日)
- ・「橋平酒造店と昔の暮らし展」(2005年3月3日～4月3日／醸室・古川市教育委員会主催)
- ・「戦時下女学校の学徒勤労働員」(2004年9月17日～10月2日／共催：学校法人宮城学院)
- ・「吉野作造と関東大震災」(2005年11月6日～12月11日)
- ・「吉野作造と日本国憲法―施行から60年」(2007年3月18日～5月3日)
- ・「若き日の吉野作造」(2008年3月4日～4月13日)
- ・「現代に生きる吉野作造」(2009年1月17日～3月29日)
- ・「吉野作造と文学者」(2009年11月21日～2010年1月31日)
- ・「吉野作造と鈴木文治」(2011年1月8日～3月21日 *途中休止)
- ・「吉野作造と震災・復興―関東大震災と人々の生きる希望」(2011年8月13日～11月13日)
- ・「大正時代の女性と吉野作造」(2011年12月3日～2012年3月4日)
- ・「末は博士か大臣か」(2012年5月27日～7月29日／共催：独立行政法人経済産業研究所、協賛：東北電力株式会社、後援：東北経済産業

局)

- ・「知の普及と出版—吉野作造とユニヴァーシティ・エクステンション」(2012年11月18日～2013年2月11日／協力：東京大学出版会)
- ・「明治文化研究の奇人変人たち—吉野作造・尾佐竹猛・宮武外骨」(2013年5月26日～7月28日／共催：東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター明治新聞雑誌文庫，協賛：株式会社博報堂)
- ・「吉野作造と近代中国」(2013年10月27日～12月28日／共催：東北大学史料館)
- ・「吉野作造とキリスト教」(2014年5月25日～8月3日／共催：ライオン株式会社)
- ・「吉野作造と賀川豊彦—貧しき者，弱き者のために」(2014年10月12日～12月28日／共催：賀川豊彦記念松沢資料館)
- ・「日本国憲法の誕生と吉野作造」(2015年6月7日～8月2日)
- ・「井上ひさしと戦後日本の平和」(2015年10月11日～12月27日／共催：井上事務所，特別協力：仙台文学館・遅筆堂文庫)
- ・「暮らしの向上を求めて」(2016年5月29日～8月7日／共催：みやぎ生活協同組合)
- ・「自由を愛し，平和を貫く—吉野作造と安中教会」(2016年10月9日～12月28日／後援：駐仙台大韓民国総領事館)
- ・「子育ての昔と今」(2017年5月28日～8月6日／共催：学校法人吉野学園)
- ・「90年前の清き一票—普通選挙のはじまり」(2017年10月8日～12月28日／後援：公益財団法人明るい選挙推進協会・宮城県選挙管理委員会，宮城県教育委員会)
- ・「働く人の権利を求めて」(2018年5月27日～8月5日／共催：友愛労働歴史館)
- ・「時代をつくった女性たち—大正女性の豊かな生き方」(2019年1月6日～3月24日／後援

：公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター)

- ・「民衆とともに生きる—吉野作造・布施辰治と復興の精神」(2019年7月14日～9月22日／後援：石巻市・石巻教育委員会)
- ・「尚志—東北帝国大学と宮城の高等教育」(2020年1月12日～3月22日　＊途中休止／共催：東北大学史料館)
- ・電子展覧会「大正デモクラシーの旗手 吉野作造」(2020年7月29日～公開中)
- ・「災害と復興のおおさき近現代史」(2021年1月17日～3月28日)
- ・「吉野作造と後藤新平」(2021年7月28日～9月26日／協力：奥州市立後藤新平記念館)
- ・「公文書で見る明治時代のみやぎ」(2022年3月13日～4月24日／特別協力：宮城県公文書館)
- ・「吉野作造と宮城県尋常中学校の仲間たち」(2022年7月24日～9月25日／協力：一関市博物館・宮城県仙台第一高等学校・宮城県仙台第一高等学校同窓会)
- ・「我が町おおさきの歴史・文化（第1回戦争篇）」(2023年1月29日～3月26日)
- ・「戦後の吉野作造「再発見」—家族・教え子・故郷の人びと」(2023年7月23日～9月24日)
- ・「我が町おおさきの歴史・文化（第2回 学校篇）」(2024年1月28日～3月24日)
- ・「明治文化研究会 100周年記念 新収蔵資料展」(2024年7月28日～9月23日)
- ・「我が町おおさきの歴史・文化（第3回 学校篇 II）」(2025年2月9日～3月23日　＊予定)

4 各種表彰事業・助成事業による表彰者・助成者

(1) 吉野作造研究賞

吉野の業績と精神を顕彰・普及するための論文募集事業として 2008（平成 20）年度に創設。2012（平成 24）年度の第 3 回からは、若手研究者の育成・奨励を目的に応募資格・募集要項を大幅に改訂し、現在に至っている。

●第 1 回 2008（平成 20）年度

〈最優秀賞〉堅田剛「吉野作造と鈴木安蔵—五つの「絶筆」をめぐる」／〈優秀賞〉秋山真一「吉野作造に於ける明治文化の世界」、西田耕三「吉野作造の原型質（アーキタイプ）—若年期の精神史試論」（＊いずれも『吉野作造研究』第 5 号掲載）

●第 2 回 2010（平成 22）年度

〈最優秀賞〉齋藤由佳「吉野作造における「婦人」解放論」／〈優秀賞〉朱琳「二つの中国認識—吉野作造と内藤湖南」, 中村敏「吉野作造と朝鮮問題—日韓併合前後から三・一独立運動までを中心として」（＊いずれも『吉野作造研究』第 7 号掲載）

●第 3 回 2012～13（平成 24～25）年度

〈最優秀賞〉趙星銀「「高度成長」反対—藤田省三と「一九六〇年」以後の時代」『思想』1054 号, 2012 年)／〈優秀賞〉佐藤太久磨「「国際民主主義」から「東洋モンロー主義」へ—吉野作造の国際政治思想」『ヒストリア』220 号, 2010 年)

●第 4 回 2014～15（平成 26～27）年度

〈最優秀賞〉武藤秀太郎「吉野作造と中国知識人—キリスト教青年会（YMCA）との関連を中心に」（書き下ろし ＊『吉野作造研究』第 12 号掲載）

●第 5 回 2016～17（平成 28～29）年度

〈最優秀賞〉小島秀信『伝統主義と文明社会—エドモンド・パークの政治経済哲学』（京都大学学術出版会, 2016 年), 小野寺研太『戦後日本の社会思想史—近代化と「市民社会」の変遷』（以文社, 2015 年）

●第 6 回 2018～19（平成 30～31）年度

該当作なし

●第 7 回 2020～21（令和 2～3）年度

〈最優秀賞〉熊谷英人『フィヒテ「二十二世紀」の共和国』（岩波書店, 2019 年), 古田拓也『ロバート・フィッシャーの政治思想—ロックが否定した王権神授説』（岩波書店, 2018 年）／〈優秀賞〉渡部亮「「大正デモクラシー」の政党化構想のゆくえ—社会民衆党の「議会主義」に注目して」（『史学雑誌』128 巻 8 号, 2019 年), 松本洵「初期議会自由党の〈党議〉—議会制度下における一体性の模索」（『国家学会雑誌』132 巻 9・10 号, 2019 年）

●第 8 回 2022～23（令和 4～5）年度

〈最優秀賞〉柳愛林『トクヴィルと明治思想史—〈デモクラシー〉の発見と忘却』（白水社, 2021 年）／〈新人賞〉澤井勇海, East Asia before 'Diplomacy': The Transformation of China and Japan's Foreign Policy-making, 1858-1881（博士論文, 2021 年）

(2) 吉野ネットワーク交流事業人材育成研修会 附・助成事業

吉野作造研究のネットワーク構築と学生の人材育成を目的に 2007（平成 19）年度に開始。助成事業は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となった第 14・15 回（2021～22

年)に限り、研修会受講者が行う研究活動等に対し行ったもの。助成対象者による成果報告は『吉野作造研究』第19・20号に掲載している。

●第14回 2021(令和3)年度

井龍奈実(龍谷大学文学部)「治安警察法第五条改正運動と新婦人協会—転換点としての第44議会」、何琦璠(東北大学大学院国際文化研究科)「松本亀次郎の中国認識—中国人留学生とのかかわりを中心に」、曲金堯(京都大学大学院法学研究科)「日中国交正常化の政治史的考察—田川誠一を中心に」、野村宙可(お茶の水女子大学文教育学部)「人の価値観に沿ったキャリア選択支援活動」、黄偉軒(京都大学大学院法学研究科)「吉野作造のイギリス帝国をめぐる理解とその影響—戦後の歴史認識問題から見る」

●第15回 2022(令和4)年度

高島笙(東北大学大学院文学研究科)「第26回衆議院議員総選挙と戦前派代議士の限界—尾崎行雄を事例に」、手代木みずき(東北大学大学院国際文化研究科)「20世紀初頭の歴史的シリアにおける女性をめぐる議論」、陳春松(京都大学大学院法学研究科)「日中戦争における蔣介石の対日認識—彼のアジア主義的思考を中心に」、明海輝(京都大学大学院法学研究科)「日清戦争における国際関係と日本外交」、RAMOS Manon Julie Chloé(京都大学大学院法学研究科)「戦間期日本の内閣制度とその運用—政党政治の時代における連帯責任の問題を中心に」

(3) 吉野作造記念高校生弁論大会・吉野作造特別賞

宮城県高等学校弁論大会(宮城県高等学校文化連盟主催)との共同事業として、吉野作造記念館を会場にNPO古川学人が共催団体になる形で2019(令和1)年度から実施。成績優秀者には宮

城県高等学校弁論大会として各賞が授与される他、吉野作造記念高校生弁論大会としてNPO古川学人から吉野作造特別賞を授与している。

●第1回 2019(令和1)年度

「差別のつらさ」(鎌田正哉・宮城県柴田農林高校川崎校1年)

●第2回 2020(令和2)年度

「生命の都を守る」(中川守都・宮城県農業高校2年)

●第3回 2021(令和3)年度

「温もりのバトン」(山田知紗希・古川学園高校1年)

●第4回 2022(令和4)年度

「虹の彼方に」(菅原あかり・宮城県築館高校2年)

●第5回 2023(令和5)年度

「ここにあるということ」(高橋伶・古川学園高校2年)

●第6回 2024(令和6)年度

「チャレンジャー」(田中優菜・仙台市立仙台志高校2年)

(4) 吉野作造記念おおさき社会貢献大賞

吉野作造のデモクラシー及び社会貢献の精神を次世代に伝えるため、より良い社会を目指す若者の活動を顕彰・紹介することを目的に2018(令和30)年度に創設。対象は大崎市内の小・中学校生、高校生の個人・団体による若者の政治参加に関する活動、社会福祉に関する活動、地域文化・地域社会に貢献する活動、国際貢献活動。

●第1回 2018(平成30)年度

〈最優秀賞〉「ノラ猫の殺処分ゼロを目指しての活動。さくら猫(地域猫)の普及活動」(若見明珠・古川学園中学校)／〈優秀賞〉「老人福祉施

設での交流会」(大貫小学校 4 年生),「まちなか文化祭の実施」(まちなか文化祭実行委員会),「FULLKAWA ROCK FESTIVAL」(FULLKAWA ROCK FESTIVAL 実行委員会),「高校生デモクラシー塾」(岩佐遥介・古川黎明高校),「おおさき中学校生徒会サミットを中心とした取組」(大崎市中学校生徒会),「自然の中の生き物について考えよう」(古川第四小学校 4 年生),「読み聞かせボランティア」(鹿島台商業高校図書委員会),「白梅幼稚園訪問演奏会」(古川学園中学校音楽クラブ),「FULLKAWA だべらいん食堂」(FULLKAWA ROCK FESTIVAL 実行委員会)。

●第2回 2019 (令和1) 年度

〈最優秀賞〉「修学旅行における岩出山のPR活動」(岩出山中学校 3 年生 78 名) / 〈優秀賞〉「お弁当から見える世界」(若見桃花・古川学園中学校),「交通安全活動の推進」(敷玉小学校 1 ~ 6 年生 138 名),「まちづくり学習」(古川中学校 3 年生 216 名) / 〈奨励賞〉「岩出山小学校児童に対する読み聞かせ」(岩出山高校 3 年生 18 名),「高校生が考えた駅からハイキング“大崎市鹿島台を歩く〜水の重さとトマトの甘さ”」(鹿島台商業高校 2 ~ 3 年生 30 名) / 〈努力賞〉「ぼうさい探検隊の実施・防災マップ作り」(鹿島台小学校防災探検隊・昨年度 5 年生 10 名),「進め!環境探検隊〜化女沼の自然」(宮沢小学校 5 年生 13 名),「児童会におけるいじめ未然防止の取組「いじめゼロCM」づくり」(宮沢小学校 6 年生 13 名),「ランドセルプロジェクト」(古川高校 2 年生 3 名),「古川まつりへの出店」(古川黎明・小牛田農林高校生徒会高校 1 ~ 3 年生 25 名),「文化祭チャリティバザー売上金の寄託」(古川学園高校新聞部 3 年生 3 名, 2 年生 3 名)

●第3回 2020 (令和2) 年度

〈最優秀賞〉「マスク製作ボランティア」(松山高校家庭クラブ 1 ~ 3 年生 30 名) / 〈優秀賞〉

「台風 19 号ボランティア」(古川学園高校硬式野球部 40 名) / 〈奨励賞〉「わたしたちにできること〜スマイルプロジェクト」(古川第五小学校 6 年生 147 名) / 〈努力賞〉「動物愛護ボランティア」(若見桃花・古川中学校)

●第4回 2021 (令和3) 年度

〈最優秀賞〉「新型コロナ禍の最前線で活躍される医療従事者と地域の方々への応援横断幕作成及び贈呈, 募金活動」(古川中学校福祉委員会) / 〈優秀賞〉「大崎市立高倉小学校の卒業アルバム作成支援プロジェクト」(鹿島台商業高校),「岩中ハンドシェイクプロジェクト 岩中SDGs ミッションマーの子供達に文房具を届けよう」(岩出山中学校) / 〈奨励賞〉「大崎市社会福祉協議会岩出山支所との連携事業“ことばのギフトカード”」(岩出山中学校),「RoboMatch in おおさき (小学生向けプログラミング教室)」(RoboMatch in おおさき実行委員会),「地域の方々に感謝プロジェクト」(古川第四小学校 6 年生),「1 人暮らしの高齢者に残暑見舞いの絵手紙を届ける活動 障害のある人の生活を知るキャップハンディ体験」(大貫小学校 4 年生) / 〈努力賞〉「シトラスリボンプロジェクト in 松山高校〜今, 私たちにできることから始めよう」(松山高校図書委員会・保健委員会・有志ボランティア),「七夕飾りをつくり, 大崎市社会福祉協議会へ寄贈」(松山高校 1 年生),「おおさき親子の絵本カフェ」(おおさき親子の絵本カフェ実行委員会),「飲食店PRによる地域活性化活動」(おおさきフードMAP)

●第5回 2022 (令和4) 年度

〈最優秀賞〉「7 月豪雨災害ボランティア」(鹿島台中学校 1 ~ 3 年生 11 名) / 〈優秀賞〉岩出山中学校の取り組み—①「政宗公まつり」(1 ~ 3 年生 191 名), ②「大崎市社会福祉協議会岩出山支所との連携事業“あったかことばのギフトカード”」(1 ~ 3 年生 216 名), ③「岩中ハンドシェ

イクプロジェクト 岩中SDGs つなぎ届けるミ
ヤンマーへの想い」(1～3年生 191名)、鳴子中
学校の取り組み①「高齢者への見守り活動」
(環境・福祉委員会 6名)、②「パキスタン洪水被
害への募金活動」(生徒会執行部・環境・福祉委
員会)、「岩出山小学校児童に対する読み聞かせ」
(岩出山高校 3年生 14名)／〈奨励賞〉「誰にで
も優しく、暮らしやすい大崎を願って～手作りシ
トラスリボン無償配布」(古川学園高校家庭部 1
～3年生 34名)、「絵手紙でつながる心のキャッ
チボール」(岩出山小学校 3～6年 250名)

●第6回 2023(令和5)年度

〈最優秀賞〉「大崎耕土魅力発信プロジェクト」
(鹿島台商業高校 2年生 5名)／〈優秀賞〉「JR
陸羽東線 2つの駅 清掃ボランティア」(古川西
小中学校 8～9年生 83名)／〈奨励賞〉「トル
コ・シリア地震 救援金募金活動」(田尻中学校
生徒会 1～3年生 205名)、「各学年地域や校地内
の奉仕作業を行うもの」(鹿島台中学校 1～3年
生 240名)

●第7回 2024(令和6)年度

〈最優秀賞〉「竹切り・竹炭で地域と水田に貢献す
る活動」(古川西小中学校 9年生)、「地域の産
業・文化・観光への貢献活動」(古川第二小学校
6年生)／〈優秀賞〉「宮城県JRC発足 100周
年記念チャリティーフェスティバルの企画・運
営」(古川中学校福祉委員会)、「まちづくり学習
(福祉班)」(古川中学校 3年生)、「中学校 3年間
の福祉活動」(宍戸奈央・古川中学校)／〈奨励
賞〉「自分たちにできる地域猫活動」(古川学園高
校創志コース 2年地域猫チーム)、「地域の活性化
に向けた企業連携活動(PR・販売促進活動)」
(鹿島台商業高校 2年生)、「地域の児童等を対象
とした「おしごとたいけん」等の実践(幼児・児
童に対する)」(鹿島台商業高校)

(5) 吉野作造フェローシップ

おおさき社会貢献大賞に続き、若者の創意工夫
による社会課題解決のための試みを支援する事業
として 2019(令和1)年度に創設。選考された
企画は、最大で 10 万円の活動資金を支援。

●第1回 2019(令和1)年度 採用企画

「大崎高校生ミライゼミ」(川向思季)

●第2回 2020(令和2)年度 採用企画

該当なし

●第3回 2021(令和3)年度 採用企画

「中学校区の地域コンテンツを探り、その魅力を
発信して地域貢献を試みる」(古川西中学校 1学
年 39名)、「Robo Match おおさき」(Robo Match
おおさき実行委員会)

●第4回 2022(令和4)年度 採用企画

「古川西小中学区での持続可能な後輩に継承して
いく地域貢献活動の充実」(古川西中学校 2学年
および生徒会執行部)、「Robo match in おおさ
き」(Robo Match おおさきプロジェクト)

●第5回 2023(令和5)年度 採用企画

「古川西小中学校区の魅力を伝える・発信する学
習活動の試み～地域のプロフェッショナルな方々
との交流を通して」(古川西小中学校第 9 学年お
よび児童生徒会)

●第6回 2024(令和6)年度 採用企画

「古川西小中学校区の魅力を伝える・発信する学
習活動の試み～地域のプロフェッショナルな方々
との交流を通して」(古川西小中学校・ふるにし
児童生徒会)

(6) おおさき芸術コンクール

大崎市の小・中・高校、支援学校の生徒による
作品を募集・表彰するとともに、応募作品による
チャリティ展覧会を通じて募集した義援金を災害
支援等に寄附することで、子どもたちの創作活動

と社会貢献を結びつける事業。

●第1回 2020（令和2）年度

〈写真の部 最優秀賞〉「ゴマダラカミキリみいつけた！」（鈴木比奈子・古川黎明中学校 1 年）／〈絵画の部 最優秀賞〉「コースター」（清野佳蓮・古川東中学校 1 年）、「私の大切な場所」（加藤颯華・古川第三小学校 4 年）

●第2回 2021（令和3）年度

〈写真の部 最優秀賞〉「この空の下で☆」（高橋結愛・鹿島台中学校 3 年）、「だいすき、ママ！！」（岡崎優絆・古川第二小学校 1 年）／〈絵画の部 最優秀賞〉「てるてる坊主」（清野佳蓮・古川東中学校 2 年）、「いつもありがとう」（吉岡利紗・古川黎明高校 2 年）／〈理事長賞〉「未来」（佐藤優智・古川支援学校中学部 2 年）

●第3回 2022（令和4）年度

〈写真の部 最優秀賞〉「家族とお散歩」（松江那那・岩出山小学校 6 年）／〈写真の部 優秀賞〉「ひまわりが咲いた！」（鈴木比奈子・古川黎明中学校 3 年）／〈絵画の部 最優秀賞〉「吉野作造記念館で花火を見たよ」（前田隼輝・古川第二小学校 1 年）／〈絵画の部 優秀賞〉「ぼくの小学校」（菅原康介・敷玉小学校 6 年）、「おおさきパルーンフェスティバル」（菊池音寧・古川黎明中学校 2 年）、「ふるさと」（照井穂乃花・古川黎明中学校 3 年）／〈絵画の部 佳作〉「みんなが大好きなじいちゃんのお米」（伊藤心春・古川第五小学校 1 年）、「ねぐらに帰ってくるまがん」（藤崎比菜・沼部小学校 5 年）、「夏休みの思い出」（加川碧唯・古川第二小学校 5 年）、「めぐる」（清野佳蓮・古川東中学校 3 年）／〈絵画の部 理事長賞〉「夜空」（佐藤優智・古川支援学校中学部 3 年）

●第4回 2023（令和5）年度

〈写真の部 最優秀賞〉「涼を求めて」（三野真由

子・古川黎明高校 1 年）、「お父さんとお母さんとミル」（松江花・岩出山小学校 4 年）／〈写真の部 優秀賞〉「あそぼ！」（文屋七菜子・古川黎明高校 1 年）、「なるこけし」（氏家遥・田尻小学校 1 年）／〈写真の部 佳作〉「お前ら！明日こそは晴れするぞ！！」（三浦煌世・古川黎明高校 1 年）、「青の向こう」（早坂日葵・古川黎明高校 1 年）、「夜の灯り」（石川由菜・古川黎明高校 1 年）、「なにわ男子」（浅野令奈・古川支援学校 1 年）／〈絵画の部 最優秀賞〉「一心不乱」（青柳結子・古川第一小学校 6 年）／〈絵画の部 優秀賞〉「銀河」（佐々木花音・古川第二小学校 5 年）、「さくら」（荒若紬・松山小学校 1 年）、「楽しかったイルカショー」（荒岡珊李・沼部小学校 5 年）、「わたしの大好きなひとことシャボン玉」（鎌田陽真・沼部小学校 6 年）／〈絵画の部 佳作〉「大好きなミニ四駆」（野村知行・古川第一小学校 2 年）、「オカメインコのミルちゃん」（小野寺みずき・沼部小学校 2 年）、「おもちゃの世界」（佐藤優智・古川支援学校高等部 1 年）

●第5回 2024（令和6）年度

〈写真の部 最優秀賞〉「大好きな町、大崎市」（安倍愛香・敷玉小学校 5 年）／〈写真の部 優秀賞〉「鳴子系こけし」（鈴木比奈子・古川黎明高校 2 年）／〈写真の部 佳作〉「じいちゃんの田んぼとおにいちゃん」（鈴木葵・古川第三小学校 1 年）／〈絵画の部（高校生） 最優秀賞〉「ブナの抱擁」（宍戸祐太・古川高校 2 年）／〈絵画の部（高校生） 優秀賞〉「ひと時」（高岩心暖・古川高校 2 年）／〈絵画の部（中学生） 最優秀賞〉「夕日と桜」（二宮好華・古川南中学校 2 年）／〈絵画の部（中学生） 優秀賞〉「なつもよう」（渡邊めい・古川南中学校 2 年）／〈絵画の部（中学生） 佳作〉「夏の風景」（渡邊美桜・古川南中学校 2 年）／〈絵画の部（小学生） 最優秀賞〉「みやぎの宝」（遊佐幸之助・古川第二小

学校 3 年) / 〈絵画の部 (小学生) 優秀賞〉
「早朝のマガン」(安住陽菜・沼部小学校 6 年),
「鳴子こけし」(佐藤央都・古川第三小学校 6 年)

(7) おおさき作文コンクール

私たちが暮らす地域の未来や、地域の歴史や文化について考えたことをテーマに、大崎市内の小学 5 ～ 6 年生・中学生・高校生から作文を募集し、表彰する事業。各部門の最優秀賞の作品は『吉野作造記念館だより』で掲載。

●第 1 回 2021 (令和 3) 年度

〈高校の部 最優秀賞〉「歴史の真価」(遠藤空・古川黎明中学校 1 年) / 〈中学校の部 最優秀賞〉
「ジュニアリーダーが紡ぐ未来」(佐藤葉々夏・鹿島台中学校 3 年) / 〈小学校の部 最優秀賞〉
「未来の鳴子 よりよい町へ」(遊佐椿乃・川渡小学校 6 年) / 〈大正デモクラシー賞〉「大切なもの」(遠藤翼・古川黎明中学校 2 年)

●第 2 回 2022 (令和 4) 年度

〈中学校の部 最優秀賞〉「魅力と活気あふれるまちへ」(中鉢雫・岩出山中学校 3 年) / 〈同 優秀賞〉「私たちが暮らす地域の未来」(赤間沙羽・岩出山中学校 2 年), 「伝統・歴史を伝える」(横田くるみ・古川黎明中学校 3 年) / 〈同 奨励賞〉「未来の大崎市に希望すること」(吉田真子・三本木中学校 3 年), 「活気ある古川にするために」(村山瑞希・古川南中学校 2 年), 「住みたくて住んでいる訳じゃないのに」(藤田妃名・古川黎明中学校 2 年) / 〈小学校の部 優秀賞〉「私たちの暮らす地域の未来」(飯田峻伍・古川第二小学校 5 年) / 〈大正デモクラシー賞〉「鹿島台の未来」(大和田吏音・鹿島台中学校 1 年)

●第 3 回 2023 (令和 5) 年度

〈中学校の部 最優秀賞〉「閉校した小学校の未来」(中里恭・古川黎明中学校 1 年) / 〈同 優

秀賞〉「シャッター通りから未来へ」(荻原爽緒・古川黎明中学校 1 年), 「未来の大崎市」(今野心雅・古川黎明中学校 1 年), 「大崎市の守るべき風景」(長野紬生・古川黎明中学校 1 年), 「大崎の未来のために」(三浦雪乃・古川黎明中学校 3 年) / 〈同 奨励賞〉「吉野作造について調べ、考えた事」(阿部蒼空・岩出山中学校 3 年), 「私の地域」(宮内乃愛・古川黎明中学校 1 年) / 〈小学校の部 最優秀賞〉「時代を変えた吉野作造」(伊藤愛・古川第五小学校 5 年) / 〈同 優秀賞〉「大崎でやってみたいこと」(加藤向陽・沼部小学校 6 年) / 〈同 奨励賞〉「大ききでかなえないわたしのゆめ」(橋元梓紗・沼部小学校 2 年) / 〈高校の部 最優秀賞・大正デモクラシー賞〉「現代に民本主義は残り続けているのか」(千葉トミエール・古川黎明高校 1 年)

●第 4 回 2024 (令和 6) 年度

〈中学校の部 最優秀賞〉「大崎の緑を守るために」(内藤倫円・古川黎明中学校 2 年) / 〈同 優秀賞〉「大崎の「未来のリーダー」になるために」(佐々木柚葉・古川黎明中学校 1 年), 「大きな期待を背負うまち」(高橋和夏・鹿島台中学校 3 年) / 〈同 奨励賞〉「路地の道路整備を行うためには」(荻原爽緒・古川黎明中学校 2 年), 「自分から行動」(笹原要悦・岩出山中学校 3 年), 「より良い大崎をつくるために」(高橋海音・鳴子中学校 2 年) / 〈大正デモクラシー賞〉「私が吉野作造について考えたこと」(亀山華凜・鹿島台中学校 1 年)

5 職員および運営受託者（NPO古川学人）が受けた表彰・助成

(1)表彰（＊傍線は表彰を受けた者）

NPO古川学人，第3回みちのくPR大賞，
2004年

NPO古川学人，公益財団法人明るい選挙推進協会・令和元年度明るい選挙推進優良活動賞，2020年

NPO古川学人，大崎市教育委員会，感謝状，
2022年（地域の教育に対する多年の貢献に対し）

小嶋翔，日本経済思想史学会賞・奨励賞，2023年（論文「社会教育者としての安部磯雄」『日本経済思想史研究』22号）に対し）

菅原暢子・NPO古川学人，第26回日本自費出版文化賞・グラフィック部門入選，2023年（絵本『ケロッキーパーとおおきなあな』に対し）

(2)助成（＊傍線は助成を受けた者）

大川真（研究代表者），公益財団法人サントリー文化財団「人文科学，社会科学に関する学際的グループ研究助成」，研究課題名：「大正期日中間における知識人交流と国際協調論の形成」，2014年，100万円

小嶋翔，公益財団法人朝日新聞文化財団・文化財保護助成，事業名：「唐紹儀書額「舒卷忘食」修繕及び公開事業」，2014年，30万円

小嶋翔，公益財団法人生協総合研究所・第13回生協総研賞助成事業，研究課題名：「昭和戦前期消費組合運動の研究」，2015年，25万円

佐藤弘幸（研究代表者），公益財団法人日本科学協会笹川科学研究助成，研究課題名：「「吉野作造」を題材とした市民教育教材の制作と活用」，
2015年，22万円

NPO古川学人，公益財団法人カメイ社会教育振興財団，事業名：「大崎高校生ミライカイギ（吉野作造記念館デモクラシー塾）」，2019年，15万円

小嶋翔（研究代表者），公益財団法人日本科学協会笹川科学研究助成，研究課題名：「民間による地域アーカイブズの経営と活用」，2022年，33万円